

平成19年度 事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課			内線等	1131	
事務事業名	上空通路建設事業			事業コード	3. 建設事業(ハード事業)			
根拠法令等				Eなし				

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	地元住民のため
手 段	J R 三河塩津駅から競艇場ボートタワーまでの上空通路を建設し
想定する成果	競艇ファンと地元住民との分離を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
委託(設計等)		9,135,000円	
用地買収	-	644,204,063円 (面積 3,293.98㎡)	-

成果指標

成果指標名	
成果指標の説明	

事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		-				-				-			
成果指標		-				-				-			
事業費	事業費					653,339							
	人件費	2,335				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	2,335				655,682				2,354			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,335				655,682				2,354			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	1	1	1	1	
経済効率性	1	1	1	1	競艇を取り巻く環境の変化の中で、上空通路建設を進めても競艇収益の改善を期待できない。
事務効率性	2	1	1	1	上空通路のアンダー道路である市道油井20号線については、周辺対策の一環として早期関連用地確保のため、土地開発公社による先行取得地を買戻し、未買収用地の確保に努めている。
必要性	2	2	2	2	
小計	6	5	5	5	
施策への貢献度	2	-	1	-	上空通路の建設と区分し、アンダー道路である市道油井20号線は早期に完成の目処を立てなければならない。
合計	8	5	6	5	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	D	C	上空通路の建設は、競艇ファンと地元住民とを完全分離することを主目的に当初計画が進められたが、競艇を取り巻く環境が大きく変化しており、改めて上空通路建設を継続する必要があるか検討する時期がきている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
舟券売上が低下している中で、建設資金の捻出が厳しい状況ではあるが、今後も建設用地買収に向けて努力したい。
上記改善点の実施状況
平成18年度からのオールナイター実施で売上は確かに向上したが、平成21年度以降の丸亀、大村競艇場ナイターレース算入により蒲郡の売上は減少が見込まれ、さらに大規模施設改善計画も進行しており、資金的にも上空通路建設は困難である。

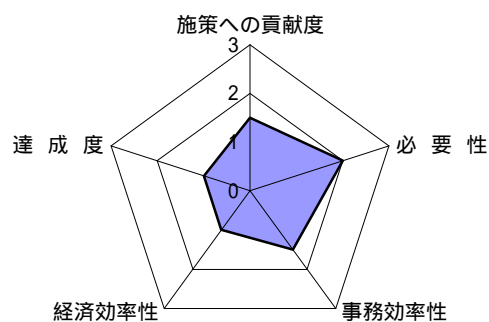
今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

見直し、縮小

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】